

KANAGAWA HOHYUH CLUB
神奈川放友会



News letter

Vol. 7 No2 Apr.. 2014
第 26 号

神奈川放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地
ストーク伊勢佐木1番館 501 号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2014年 4月 1日

「何が何でもあと十年」

副会長 橋口 邦紘

例年の如く元日、家族、妹親子、総勢大人7名、孫 2名が我が家集った。

両親は既に他界していない。

我が家のしきたりとして、先ず仏壇に線香をあげ両親に新年の挨拶をする。雨戸（シャッター）は屠蘇で年を取るまでは開けない。

その年の一番若い者が年長者から順番に三方の杯を廻して年取となる。（孫はまだ二歳、当然妹の娘がこの二十数年務めてきた、慣れたもの、本人も非常に気に入っている様でこの行事で正月を実感するらしい）

屠蘇が廻し終わったら雨戸を開け、一斉に「明けまして・・・」の大合唱、宴となるが、全員酒に弱い、2本目の缶ビールを開ける、開けないで大騒ぎ、如何やら長男の嫁さんはいけるらしいが二番目の孫の授乳中でこれ又おあずけ、その上女房の友達夫婦は九州出身で、ある時、義弟の送って呉れた焼酎を差し上げたら大感激、お二人とも酒は絶対「焼酎」らしく、お礼にと事あるごとに「越乃寒梅」を頂くようになった。

これを夫婦で時々ぐい飲み一杯ずつ、一升瓶を空けるのに三か月かかる。

突然女房が呟いた「お父さん二月で七十歳ネ」、全員「まだ若い」と言ってくれた。

定年退職してはや十年、あの時宣言した「今日から10年間、競馬、を趣味とする」と、幸いにも大してボケもせず、それこそ「雨にも負けず、風にも負けず、夏の暑さにも・・・」の如く、翌年定年退職した友人の、S氏と共に「伊勢佐木町エクセル」に週末競馬通勤した。

今年再び宣言した「あと十年、元気で競馬に打ち込むゾ」と、今日から十年後何が起きるのか、我が身に、家族に、日本に、世界に。

- ・十年後 とはいわず5年後位までボケないでいられるか(中央10競馬場のうち9場制覇した、残るは「中京競馬場」のみ)
- ・十年後 日本の競馬界は昔の活気を取り戻しているか
- ・十年後 ディープインパクトを超えるスターホース

は出現しているか

- ・十年後 日本の経済、世界の経済は安定しているか
- ・十年後 日本の定年は65歳になるか
- ・十年後 がん治療、iPS細胞治療は劇的に進化しているか
- ・十年後 CT、MRI、を凌駕する機器は出現するか
- ・十年後 原発は何基稼働しているか
- ・十年後 出生率は増加しているか
- ・十年後 神奈川放射線技師会、会員数は増加しているか
- ・十年後 神奈川放友会、会員数は200名を超えるか

古い先短いのだ、過去等振り返る暇はない、今がどん底だと思ふようにしている、「若者よ頑張れ」、おじさんも六浦の片田舎から応援しているから。

中央競馬10競馬場

- ・札幌競馬場
- ・函館競馬場
- ・福島競馬場
- ・新潟競馬場
- ・東京競馬場
- ・中山競馬場
- ・中京競馬場
- ・京都競馬場
- ・阪神競馬場
- ・小倉競馬場



『うまいく(馬九行久)』

平成 26 年度 神奈川放友会 総会資料

平成 26 年 4 月 12 日(土)総会開催にあたり、「平成 26 年度神奈川放友会総会」報告資料を掲載いたします。

第 7 回目の総会にあたり、平成 25 年度の会務状況を報告して総会資料といたします。

- [内容] ① 平成 25 年度事業及び会計報告総括
 ② 平成 25 年度 監査報告
 ③ 平成 26 年度事業計画及び会計計画 (案)

I 平成 25 年度事業及び会計報告総括

神奈川放友会会則第 3・4 条に記されている通り、目的・事業は、会員の情報交換、神放技への協力体制、医療と福祉の向上発展に寄与する社会活動等に添って、副会長役を 2 名とし、執行部一同精進して来ました。

ムリはせず焦らずの基本をモットウにしながら、役員 の熱意と会員の協力を得て、予定通りの活動が出来ましたので、その活動内容を報告いたします。

- 1) 会員数 137 (男:131 女:6名)
 2014年3月8日 現在
 平成 25 年度 新入会者: 12 名 退会者: 3 名
- 2) 会 議
 ・総会 1 回 平成 25 年 4 月 6 日 (土)
 ・定例理事会 6 回
 6/8 8/10 9/28 12/14 2/8 3/8
- 3) 放談会の開催 2 回
 テーマ: 神奈川放友会の活動を考える
 4 月 6 日 (桜木町) 講演「医療界の話題について」
 野口 雄司
 11 月 9 日 (大磯) 講演「画像による藤村の生涯」
 小松崎真一

4) 事業活動

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行 年 4 回
 第 22 号 Vol.6 No.2 2013.04.01 A4 版 8p 150 部
 第 23 号 Vol.6 No.3 2013.07.15 A4 版 8p 150 部
 第 24 号 Vol.6 No.4 2013.10.15 A4 版 8p 150 部
 第 25 号 Vol.7 No.1 2014.01.15 A4 版 8p 150 部
- ② 東京競馬観戦 5 月 12 日 参加者 18 名
- ③ イベント 島崎藤村の歴史を訪ねて&ミニ講演会
 平成 24 年 11 月 09 日(日) 参加者 7 名
- ④ 食と放射線 ー安全・安心への取り組む副読本ー
 出版 2013.11.10 (1,000 部発行)
- ⑤ 「神奈川放友会」の紹介及び会員登録の推進活動
 地域放射線技師会・放射線技術講習会・新春情報交換会等での役員参加による PR
- ⑥ 福島における「食と放射線の安心・安全への取り組み」神奈川県議会議員団視察への同行 4 人

5) 会計報告 平成 25 年度会計報告

収 入		予算額	決算額	増減
収 入 の 部	購読料	70,000	66,000	-4,000
	雑収入 (寄付金) (事業収入)	10,000	32,357	22,357
	前年度繰越金	148,293	148,293	0
	収入合計	228,293	246,650	18,357
支 出		予算額	決算額	不用額
支 出 の 部	Newsletter 発行費	18,600	22,745	-4,145
	発送費	44,800	24,640	20,160
	発行発送諸費	50,000	5,580	44,420
	諸経費	20,000	14,000	6,000
	予備費	94,893	46,483	48,410
	支出合計	228,293	113,448	114,845
収入決算増 : 18,357 円		支出不明金 : 114,845 円		
合 計 : 133,202 円		次年度繰越金		

6) 役 員

- 会 長 長谷川 武
 副会長 橋口 邦紘(総務) 早瀬 武雄(渉外)
 監 事 草柳 伸彦 石渡 良徳
 理事(総務) 村松 康久
 理事(企画) 小松崎真一 理事(企画) 斎藤 節
 理事(編集) 櫻田 晃 理事(編集) 小嶋 昌光
 相談役 萩原 明 相談役 柳生 博

II 平成 25 年度 監査報告

監事 草柳 伸彦 ㊞

神奈川放友会会則第 11 条により平成 25 年 3 月 8 日に職務を実施したので報告する。

1. 会計監査

会費無料の運営なので会計監査の必要性を認めにくい現状ですが、実質郵送料である購読料をうまく使い、技師会の支援や会員からの寄付金を合わせて、地道に運営されていますが、理事の負担が大き過ぎていますので、改善を要望したい。活動実績より敬意を称しますが、役員負担の限度もあるので、事業や財源確保の再検討をする必要性を認めます。

2. 会務監査

Newsletter 発行とイベント企画及び出版事業が、順調に行われたことを評価いたします。

会員登録 136 名を記録していますが、神奈川放友会の発展のためにより会員登録に今後も努力してほしい。また、イベント参加者を増やすようご検討をお願いします。

3. 補足

- ①自費出版方式の事業ですが、慎重に実行して下さい。結果としてはよい事業でした。
- ②地方議会の政治活動に踏み込んでいることは、大いに評価できますので、今後も慎重に活動して下さい。

Ⅲ 平成 26 年度 事業及び会計(案)

7 年目を迎えた放友会はこれまで通り「放友会の仲間作り」を基本として、会の発展のために入会員促進に努力をいたします。また、他県における OB 会組織との交流促進を図りたいと願っています。

更に、本会の評価は機関誌である Newsletter の発行及びその中味により評価されますので、より投稿原稿の掲載などを考慮し、充実した Newsletter 発行を心掛けて行きます。宜しくご支援下さい。

今年度の事業計画には、次の目標を置いて活動します。

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行（4回/年）
- ② 施設見学・小旅行・懇談会などの開催
- ③ 放談会の開催
- ④ 会員入会登録の促進
- ⑤ 出版物の販売促進
- ⑥ 「神奈川県放射線技師会との意見交換
- ⑦ 社会活動寄与への模索
- ⑧ 議員（市・県・国）選挙への支援

平成 26 年度 会 計 (案)

収 入		予算額	前年決算額	増減
収 入	購読料	70,000	60,500	4,000
	雑収入（寄付金） （事業収入）	10,000	32,357	-22,357
	前年度繰越金	133,202	148,293	-15,091
	収入合計	213,202	246,650	-33,448
支 出		予算額	前年決算額	増減
支 出	Newsletter 発行費	30,000	22,745	7,255
	発送費	40,000	24,640	15,360
	発行発送諸費	20,000	5,580	14,420
	活動運営費	20,000	0	20,000
	諸経費	20,000	14,000	6,000
	予備費	50,000	46,483	3,517
支出合計		180,000	113,448	66,552
次年度繰越金		33,104 円		

以上を平成 26 年度神奈川放友会総会の「総会資料」として報告いたします。

平成 26 年 3 月 8 日
会長 長谷川 武

Ⅳ 会則の一部変更について

会則第 3 章第 9 条 1 項 2 号の「副会長：1 名」の規定を「副会長：2 名」に改正する。

ーイベント案内ー

放友会の主催で下記イベントを実施します。競馬観戦は放友会の名物イベントなっていますが、今回もまた多くの皆さんと一緒に競馬を楽しもうと企画しました。会員、非会員問わず参加可能ですので、友人やご家族等お誘い合わせの上、奮ってご参加いただければと思います。多くの方の参加申し込みをお待ちしています。

イベント名：「東京競馬場観戦 G1 NHK マイルカップ」

期 日：5 月 11 日（日）雨天決行

集合時間：8 時 30 分 JR 府中本町駅 改札前

アクセス：JR 川崎駅 乗換 JR 府中本町駅 下車（駅併設、競馬場専用通路 徒歩 5 分）

参 加 費：3,000 円（入場料、座席指定料）→当日競馬場にて徴収します。交通費、飲食費は各自負担。

申込方法：県技師会事務所内「神奈川 放友会」事務局

TEL:045-681-7573 FAX:045-681-7578 又は 橋口自宅 TEL:045-783-9454 FAX:電話と同じ

※馬券は購入しなくとも、観戦だけでも結構です。

※初めての方には、丁寧にご指南申し上げます。

福島原発事故の心配事 第2報

ー福島の子供に影響が及ばないことを祈るー

中村 豊 (国立病院機構相模原病院臨床研究センター)

1. はじめに

前回第 1 報では福島原発事故での SPEEDI システムによる I-131 の放出推定量から、子供の甲状腺への影響、チェルノブイリ原発事故との比較などを報告した。今回はその後の調査や国際機関の子供の甲状腺への影響予測などの資料を基にして報告する。

2. 避難経路からの被ばく線量の推測

環境省は避難経路と甲状腺被ばく線量の推計を発表している。報告によると、

- A. つしま活性化センター (浪江町) 3. 12~23→安達体育館 (二本松市) ~4. 30
- B. 檜葉町役場 3. 12→いわき市役所~31→船引就業センター (田村市) ~4. 30
- C. 葛尾村 3. 12~14→あづま総合体育館~4. 30
(数字は月、日)

3 避難経路で 24 時間屋外に滞在し、呼吸を考慮した 1 歳児の甲状腺被ばく線量 の推計は A. 104mSv、B. 30 mSv、C. 1 mSv 未満という結果であった。これは前回の原子力安全委員会の発表による、SPEEDI システムで試算した原発の北西と南の方向に放射性ヨウ素が飛散し、最も影響を受けるケースを考えると、原発の北西にある福島県南相馬市や飯館村、川俣町のほか、南に位置するいわき市などの一部など 30 キロ圏外でも 12 日間で 100 mSv を上回る甲状腺の内部被ばくを起こす可能性があることを具体化したものである。この SPEEDI システムの環境汚染試算も当時の詳細な天候データを基に見直しが始まっている。

3. NaI サーベイメータ測定などによる甲状腺内部被ばく線量の推計

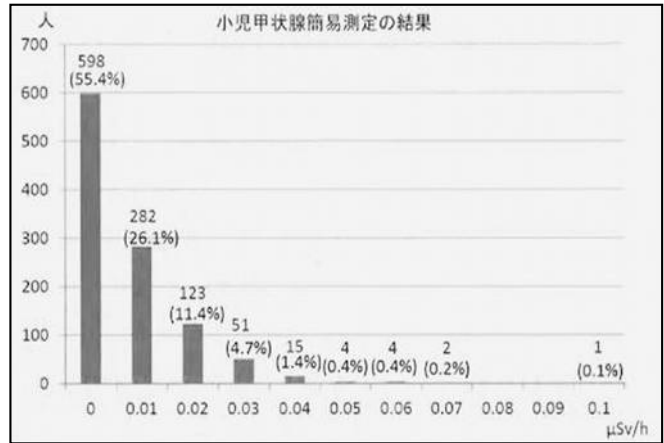
現地災害対策本部の依頼を受けた田代聡教授 (広島大学) らが 2011 年 3 月 26 日~30 日に、いわき市保健所、川俣町公民館、飯館村公民館で合計 1080 人の児童の甲状腺線量の測定をおこなった。その結果ではスクリーニングレベル 0.2 $\mu\text{Sv/h}$ (一歳児の甲状腺等価線量として 100 mSv に相当) を超える人はいなかったと報告されている。(図-1)

他にも、 γ 線スペクトロメータを用いて床次先生 (弘前大学)、バイオアッセイ法により鎌田先生 (広島大学) が高汚染地域の住民の測定を行ったが、100mSv を超える被検者はいないことが分かった。(表-1)

しかし、3 月 11 日から 20 日間の期間に、どのような生活をして、どのくらいの時間外出し、何を飲食したか、という詳細な記録を付けることが重要であり、今後も検

診を継続することが必要であると結論されている。

(図 1)



(表 1)

被検者	人数	年齢	線量 (mSv)	測定方法	測定者
いわき市、川俣町、飯館村の子ども	1149 人	?	0~35	NaI サーベイメータ	田代先生 (広島大学)
南相馬市からの避難者と浪江町の住民	62 人	0~80	0~54	NaI γ 線スペクトロメータ	床次先生 (弘前大学)
飯館村と川俣町の住民	15 人	?	27~64	バイオアッセイ法 (尿)	鎌田先生 (広島大学)

4. 国際機関による甲状腺への影響予測

(1) WHO の予測

福島原発事故による WHO の予測報告が発表されている。その報告によれば、計画避難区域の住民が 4 か月間避難せず、県内産の食品のみ食べたという条件で住民の事故による被ばく線量を推定して、事故当時 1 歳と 10 歳、20 歳の男女で甲状腺と乳腺、大腸、骨髄について、がん発生の予測を生涯分と事故後 15 年間分を推計した。成人で生涯リスクが最も高かったのは福島県浪江町の 1 歳時男女であり、甲状腺がんの発生率は女性 0.77%→1.29%の増加である。

この増加率では福島住民のがんリスクは明らかな増加はないと結論している。しかし、がんの増加について科学的根拠が不十分で検診などのフォローアップ調査を長期間継続すべきであるとしている。

(表一 2) 1 歳児の甲状腺がん生涯発生率予測

事故当時の住所	被ばく前の発生率 (%)	被ばく後の発生率 (%)
浪江町・男	0. 2 1	0. 3 3
浪江町・女	0. 7 7	1. 2 9
飯館村・男	0. 2 1	0. 2 8
飯館村・女	0. 7 7	1. 0 9
福島市・男	0. 2 1	0. 2 5
福島市・女	0. 7 7	0. 9 5

(2) UNSCEAR の予測

UNSCEAR は甲状腺の内部被ばく線量推計 (2013, 2, 26) を発表している。地区ごとに典型的な避難行動から呼吸による吸入のみを考慮して 原発から 30km 圏内の小児の内部被ばく線量は 33~66mSv であると結論している。日本を含む 80 人の専門家がまとめ、9 月の国連総会で報告した。また、事故直後の作業員の内部被ばくについて短半減期の I-132、I-133 などの影響を考慮していないため約 20%過小評価の可能性があることを示唆した。また、2013 年報告では 23 種類のガンの中で、白血病、甲状腺、皮膚、胸、脳の 5 種類のがんで子供の感受性が大人よりも高いことを示した。

5. 避難区域等の子供の甲状腺超音波検査の結果

福島県は平成 25 年 2 月 13 日に事故当時 18 歳以下の 38000 人 (調査対象は飯館村、浪江町など避難区域の子供) の甲状腺超音波検査の結果を発表した。3 人が甲状腺がんと診断され、7 人に疑いがあると発表した。10 人の平均年齢は 15 歳、男性 3 人、女性 7 人、腫瘍の直径は平均 15mm、進行がゆっくりしたタイプの早期がんであった。こどもの甲状腺がんの発生頻度は 100 万人に 1~2 人程度とされ、より高い頻度で見つかった。最近の福島県の累計発表では約 22.6 万人の 18 歳以下のこどもの甲状腺検査で 58 人 (6~18 歳、平均 16.8 歳) の甲状腺がんや疑い有りだと診断されている。しかし、過去にこのような大規模な子供の甲状腺検診は実施されていないため、「県民健康管理調査」検討委員会では甲状腺がんの発生が原発事故の I-131 に起因するものか結論付けていない。

6. チェルノブイリ原発事故により発生した小児甲状腺がんの特徴

事故から 20 年後、20 年記念行事チェルノブイリフォーラムが開催され、報告ではベラルーシで 4514 人の小児甲状腺がんが発生し、15 人 (0.5%) の死亡が確認された。ウクライナでは 2011 年に国家非常省よりチェルノブイリ原発事故報告書が出され、6049 人の小児甲状腺癌が発見されている。ロシアの公式報告書は英文になっていないが、小児甲状腺がんの発生は報告されている。このような多くの甲状腺がんの発生は事故後 5 年間、ソ連邦政府が事故情報を公表しなかったため、I-131 による汚染されたミルクを飲み続けたことによる。また、チェル

ノブイリ避難民の甲状腺等価線量の平均は 490mSv であり、50mSv 以下の被ばく線量では甲状腺がんの発生はなかったと報告されている。被ばくによる甲状腺がんの発生は事故後 4~5 年経過した 1990 年ごろから徐々に増加したことが明らかになっている。がんの種類は甲状腺乳頭癌 (PTC) が多く、被ばくに特異性のある染色体 7q11 の増加や CLIP2 遺伝子と放射線特異蛋白との関連などが報告されている。

7. まとめ

福島第一原発事故により大量の I-131 が放出された。放射性ヨウ素は甲状腺に濃縮され被ばくをもたらすため、住民への初期被ばくを評価する上で避難した住民の避難経路や経時的行動などの精密な調査が必要になる。また、I-131 の広がりや各地点での濃度を評価することが大変重要である。しかし、I-131 の半減期は 8 日と短いため、多くの土壌試料で検出できていない。そのため I-131 の汚染マップはデータ数がごく限られたものとなっている。また、土壌調査の結果から I-131/Cs 比が採取地点により大きく変化していることも明らかになっている。SPEEDI システムのデータはこれらのデータと当時の気象データから構築されたものと推察されるので避難住民の被ばく量は推定の域を脱しえない。I-131 の汚染分布について、村松康行先生 (学習院大学) らは加速器質量分析法 (AMS: Accelerator Mass Spectrometry) により I-129 (半減期: 1600 万年) を測定することから事故時の I-131 の正確な分布を再現できると報告している。また、日米共同研究により DOE (米国エネルギー省) が事故後初期に測定した航空機モニタリングデータから I-131 の土壌沈着量を解析する方法を開発している。現在では減衰して測定できない I-131 について当時の土壌中濃度を推定することが可能であれば、避難経路の精緻な I-131 の分布が解明でき甲状腺への影響について、さらに正確な評価が可能であろう。

(参考文献など)

- 「避難経路と甲状腺被ばく線量の推計」環境省
- 「小児甲状腺被ばく調査結果について」原子力安全委員会 (平成23年5月12日)
- 「避難区域の子供の甲状腺超音波検査の結果」福島県 (平成25年2月13日)
- 「福島のがんリスクの影響」WHO報告書 (2012, 11, 25)
- 「甲状腺の内部被ばく線量」UNSCEAR推計 (2013, 2, 26)
- 「福島土壌調査」文部科学省 (2011, 8~9)
- Y. Muramatsu, Y. Takada, H. Matsuzaki, S. Yoshida, “AMS analysis of 129I in Japanese soil samples collected from background areas far from nuclear facilities”, Quaternary Geochronology, 3, 291-297 (2008) など
- 米国DOEが事故後初期に測定したデータの新しいI-131解析手法 (日本原子力研究開発機構)

アメリカ紀行(その2)

櫻田 晃 (会員番号 35)

4 ベンド(Bend)という町について

娘の夫の親や親戚が多く住み、今度の旅の主な滞在地ベンドについて若干ご紹介します。

ベンドは、オレゴン州のほぼ真中に位置する人口約8万人の小さな町です。海拔1,104メートルの高地にあり、日本の網走と同じくらいの緯度です。主な産業は観光です。スキー、ハイキング、キャンプ、魚釣り、ゴルフなどのレクリエーション活動が盛んな所で、アウトドア派には魅力いっぱいの土地柄です。一年中“小春日和”に恵まれることでも知られ、いま退職後の移住地として人気があり人口が増え続けているそうです。



- 滞在中お世話になった築100年を越える家 -

私たちは、7月初旬から中旬にかけて滞在しましたが、日中の気温は日本とほぼ同じ30~34度くらいです。しかし、乾燥しているためか日本みたいに蒸し暑くはありませんでした。年間の平均降雨量が、10~13インチとされていますので、いかに乾燥しているかが分かります。ただ、日差しが強いのでサングラスは必需品です。



- ドレイクパーク(左側)とデシューツ川 -

アメリカ人のサングラスが伊達ではなかったことがよく分かりました。滞在中も毎日が快晴でした。朝晩は10度台後半まで下がりますので長袖が欲しいくらいです。宿泊先だった親戚の家の周囲は住宅街で、きれいに整備された芝生と樹高が30~40mはあるかという針葉樹(松の仲間が多い)が印象的な町並みでした。ダウ

ンタウン近くには、この地で有名なデシューツ川がゆったりと流れ、その流れに沿うようにこの町の代表的観光スポット「ドレイクパーク」があります。町を代表する公園ということもあるでしょうが、とてもよく管理されていて、市民の憩いの場・遊びの場にもなっていました。

さて、ベンドには意外なことに日本にちなんだお店もありました。その名も「Wabi Sabi」です。その店の入り口には看板代わりに蝸をかけたどったシンボルが飾ってあり、なんだかうれしくなりました。店内には、日本のお菓子、おもちゃ、人形、果ては浅草海苔まであり、そこはまるで日本でした。なぜこのような店があるのか今度行ったときにでも聞いてみようと思います。すし屋もあったので食べてみたらおいしかったです。日系人の店でした。



- ベンドのダウンタウンにある日本グッズ店「Wabi Sabi」 -

5 カルチャーショック

さて、ベンドは6月後半から9月始めまでがベストシーズンとのことでした。この季節になると、人々はこの時とばかり遊びに精を出すようです。私たちも、なんとベンドに着いた翌日からキャンプが組み込まれていました。ベンドから40km離れたエルクレークリゾートでの2泊3日のキャンプでした。娘の義母とその兄弟姉妹も皆キャンプ好きで、「夏はエルクレークが第二の家なんだ。」とのことでした。



- 早朝のエルクレークとMt.バチエラー -

つづく

みんなの広場

胸部X線検診車に医師の立ち会い不要

厚生労働省は、2013年11月22日の社会保障審議会・医療部会において、検診車での胸部X線撮影に医師の立ち会いを求めないこととし、診療放射線技師法（第26条第2項）を改正することとした。

改正案は、次期通常国会に提出予定である。

より安全なX線撮影を実施するために、次の取り組みが条件とされる。

1) 事前に責任医師の明確な指示を得る 2) 緊急時や必要時に医師に確認できる連絡体制の整備 3) 必要な機器・設備、撮影時や緊急時のマニュアルの整備 4) 機器の日常点検などの管理体制、従事者の教育・研修体制の整備

新型万能細胞(STAP細胞)の作製に成功

理化学研究所発生・再生科学総合研究センターの小保方晴子ユニットリーダーが、まったく新しい万能細胞(STAP細胞)の作製に成功したと1月30日の朝刊やテレビで、大きく報道された。生命科学の常識を覆す画期的な成果という。特許協力条約による国際特許出願の申請がされた研究は、マウスの体の細胞を、弱酸性の液体で刺激するだけで初期化が起き、万能細胞にかわるというものである。STAPとは「刺激惹起性多能性獲得」という正式名を英語で表記した頭文字。

看護師の医療行為が制度化

厚生労働省の審議会部会で最終案が了承され、看護師が一部の医療行為ができる制度の創設が決められた。医師の具体的な指示がなくとも可能にしたものである。

次期通常国会に保健婦助産婦看護師法の改正案を提出し、対象行為(気管挿管や脱水患者の点滴等)や研修内容を確定させ、2015年度より施行を目指している。

最終案は、床ずれによる壊死部分の切除や点滴中の高カロリー量の調整、抗不安薬をのませるなど41の行為を「特定行為」と位置づけた。

特定看護資格による、患者中心の医療を展開している看護協会の「特定看護師」という資格は、日本医師会などの反対で見送られた。(2013.11.09朝日新聞を要約)

第15回神奈川放射線学術大会が開催された

平成26年1月26日(日)、横浜市開港記念会館にて、第15回神奈川放射線学術大会が開催された。主催は公益

社団法人神奈川県放射線技師会で、大会長は県技師会長の窪田宗雄氏、実行委員長は学術理事の田島隆人氏であった。

大会プログラムは、公開講演Ⅰ・Ⅱ、教育講演：Ⅰ～Ⅲ、スキルアップセミナー、技術紹介Ⅰ～Ⅲ、シンポジウムⅠ～Ⅱ、市民イベントブース等であった。

特に、公開講演「がん診療に対する国の取り組み」(講師：北里大 早川和重教授)、「がん放射線治療の現状と展望」(講師：県がんセンター 中山優子部長)、及び市民イベントブースのパネル展示、乳がん検診啓発、ワークショップによる画像紹介、骨密度測定の場合では、多くの一般市民の参加が目についた。

神放技 新春情報交換会開催される

平成26年1月17日(金)に公益社団法人神奈川県放射線技師会主催の「平成26年新春情報交換会」が、横浜崎陽軒本店の4Fダイナスティーで開催された。「公益社団法人」の認可を得て初めての新春情報交換会であり、参加者は180人を越える大盛会で、恒例の新春情報交換会は人気があった。

放友会3回のイベントが企画進行中

今年は既に、3回のイベントが企画進行中である。これまで好評だった競馬観戦が2つ提案されている。競馬観戦の一つは、4～5月の間の東京競馬場観戦、その二は、一泊二日での新潟競馬観戦と新潟OB会との交流という欲張り企画。

三つ目は、「食と放射線」の発行にあたり、知遇を得た方(秋月振一郎氏の奥方)への表敬訪問と長崎原爆地訪問の観光である。(8月)

最終決定はしていないが、企画が決定次第広報する。乞うご期待!

2014年度 診療報酬改定の概要

厚生労働省は、2014年度診療報酬改定を3月5日告示した。2014年度の改定は、改定率を本体+0.73%とし、消費税によるコスト増対応分を除くと+0.1%とし、このうち医科については+0.82%(消費税によるコスト増分+0.71%)とした。改定にあたっては、「医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等」を重点課題として検討が行われた。画像診断関連では、核医学診断科として、PET/MRIの加算(9160点)、乳房PET撮影加算(4000点)が新設された。また、コンピューター断層撮影料では、消費税増税を考慮した点数がつけられている。

CTが、64列以上が増点(950点→1000点)、16列以上64列未満が据え置き(900点)、4列以上16列未満が減点(780点→770点)、2列やシングルは減点(600点→580点)となった。

一方、MRIは3テスラ以上が増点(1400点→1600点)、1.5テスラ以上3テスラ未満は据え置き(1330点)、それ以外は減点(950点→920点)となっている。

「会告Ⅰ」 平成26年度 神奈川放友会総会のお知らせ



平成26年度 神奈川放友会総会を下記の通り開催することを告示する。

神奈川放友会 会長 長谷川 武

開催日 平成26年4月12日(土) AM: 12:15~13:00

開催場所 かながわ県民センター 15階 1501会議室 (神奈放技登録)
(横浜駅西口 駅より徒歩5分) tel 045-312-1121

総会議事

1) 開会のことば

2) 会長挨拶

3) 議 題

① 第1号議案 平成25年度事業及び会計報告

② 第2号議案 平成25年度 監査報告

③ 第3号議案 平成26年度事業計画及び予算案

④ 会則の一部改定について

⑤ その他

4) 閉会のことば



「会告Ⅱ」 平成26年度 神奈川放友会「放談会」のお知らせ

平成26年度神奈川放友会放談会を総会開催時の第2部企画として、同日開催いたします。
是非、万障お繰り合わせの上、ご参加下さるようご案内いたします。

神奈川放友会 会長 長谷川 武

実行委員長 副会長 橋口 邦紘

実行委員 理事 村松 康久

開催日 平成26年4月12日(土) 開催時間 : 13:00~15:00

開催場所 かながわ県民センター 15階 1501会議室 (神奈川県放射線技師会登録)
(横浜駅西口 徒歩5分 : tel 045-312-1121)

1) 講演 「黒川能と王祇祭」 福田 利雄(元東海大学病院)

2) 「神奈川放友会の活動を考える」 “気楽に語り合おう”

3) 会食を楽しもう (場所を変えて、ちょっとお酒を含む食事会)

[会食費 3,000円]

時間を拡大しました 愉しく寛ぎながら 絆を生む至福のひとつをご一緒に!

司会 : 副会長 橋口 邦紘・早瀬 武雄

編集後記

今回の26号は総会特集号として編集しました。新年度は皆様に愛され期待されるような編集に努力して参りますのでご協力下さい。平成26年度神奈川放友会総会・放談会の開催広報を取り上げてありますので、充実した放友会活動を皆様と共に歩んで行くために、是非、参加されてご指導を戴きたいと願っています。

皆様の投稿を期待しながら、中身のある編集を心掛けて参ります。皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

編集委員 櫻田 晃 小嶋 昌光